

kako.architects



かけっこみちと木が作るまち保育

kako.architects

岡本歩睦 + 日下部和哉

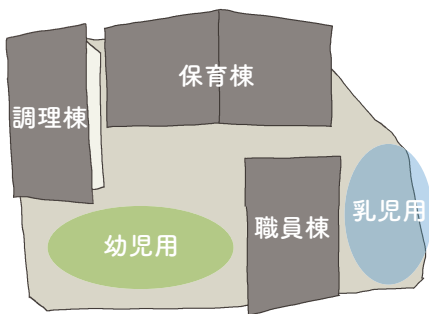


3. 安全性の確保と街との接続を実現する かけっこみち

素材にふれる、街にふれる、岡崎にふれる

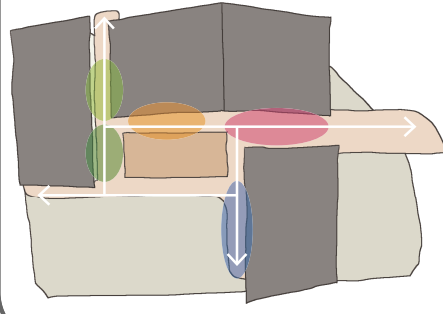
ダイアグラム

①個性化する 3 棟



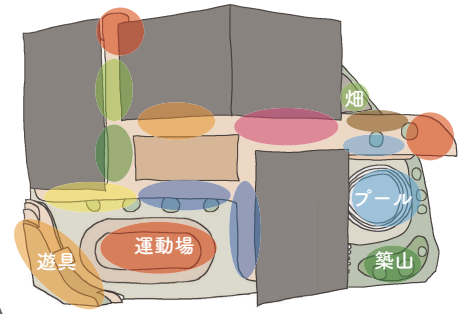
この 3 棟構成にすることで幼児用園庭と乳児用園庭を明確に分けることができる。また 3 棟それぞれ機能を割り振り、それにあった工法で設計する。

②かけっこみち



かけっこみちによって 3 棟を繋ぐ。そうすることでかけっこみちが機能の違う 3 棟と関係性を持ちながら多様な場所ができる。

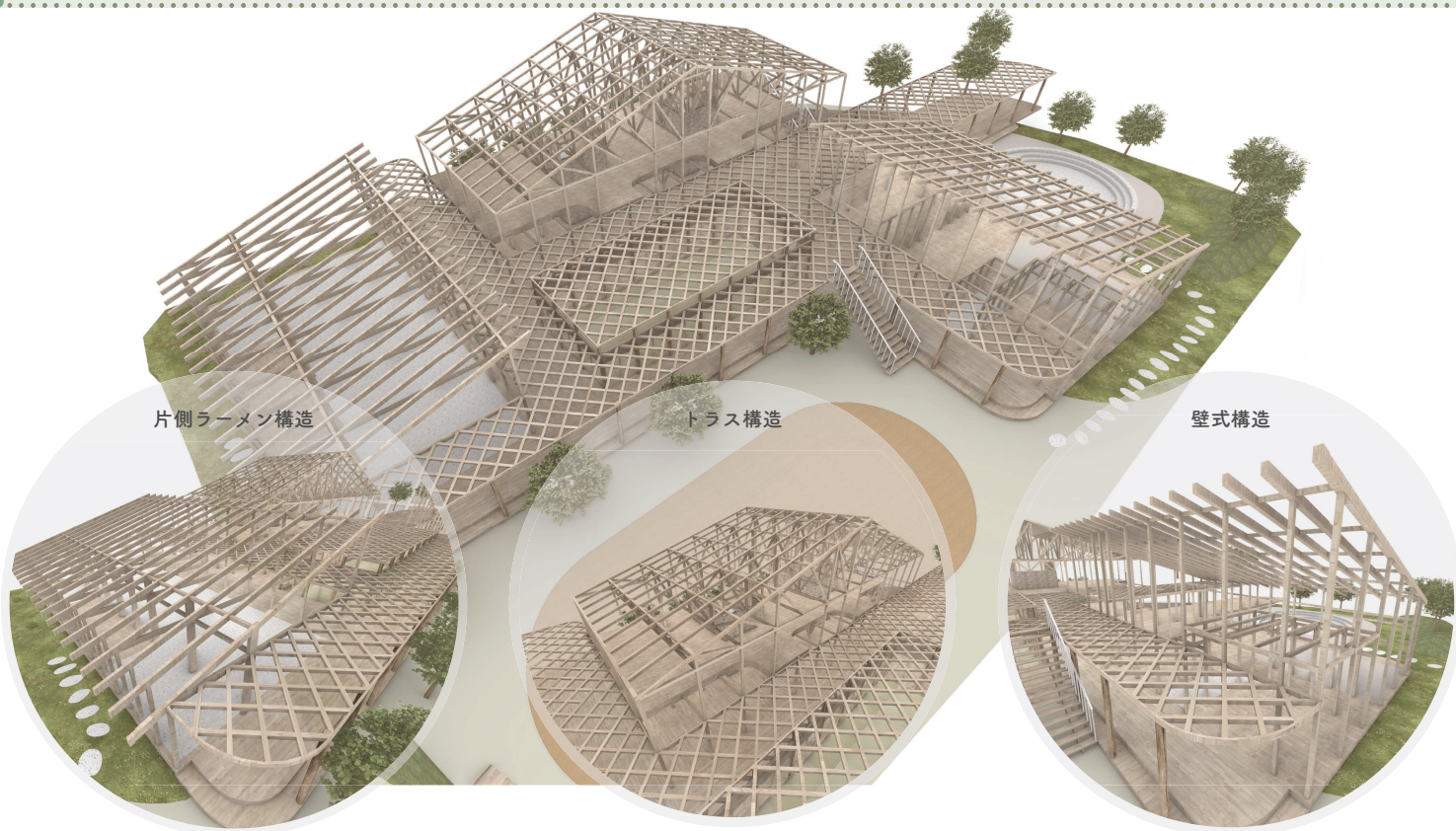
③ランドスケープ



ランドスケープをデザインすること遊び場が増える。またこれらもかけっこみちと関係を持つことでかけっこみちがさらに豊かな空間となる。

3. 安全性の確保と街との接続を実現する かけっこみち

素材にふれる、街にふれる、岡崎にふれる



片側ラーメン構造

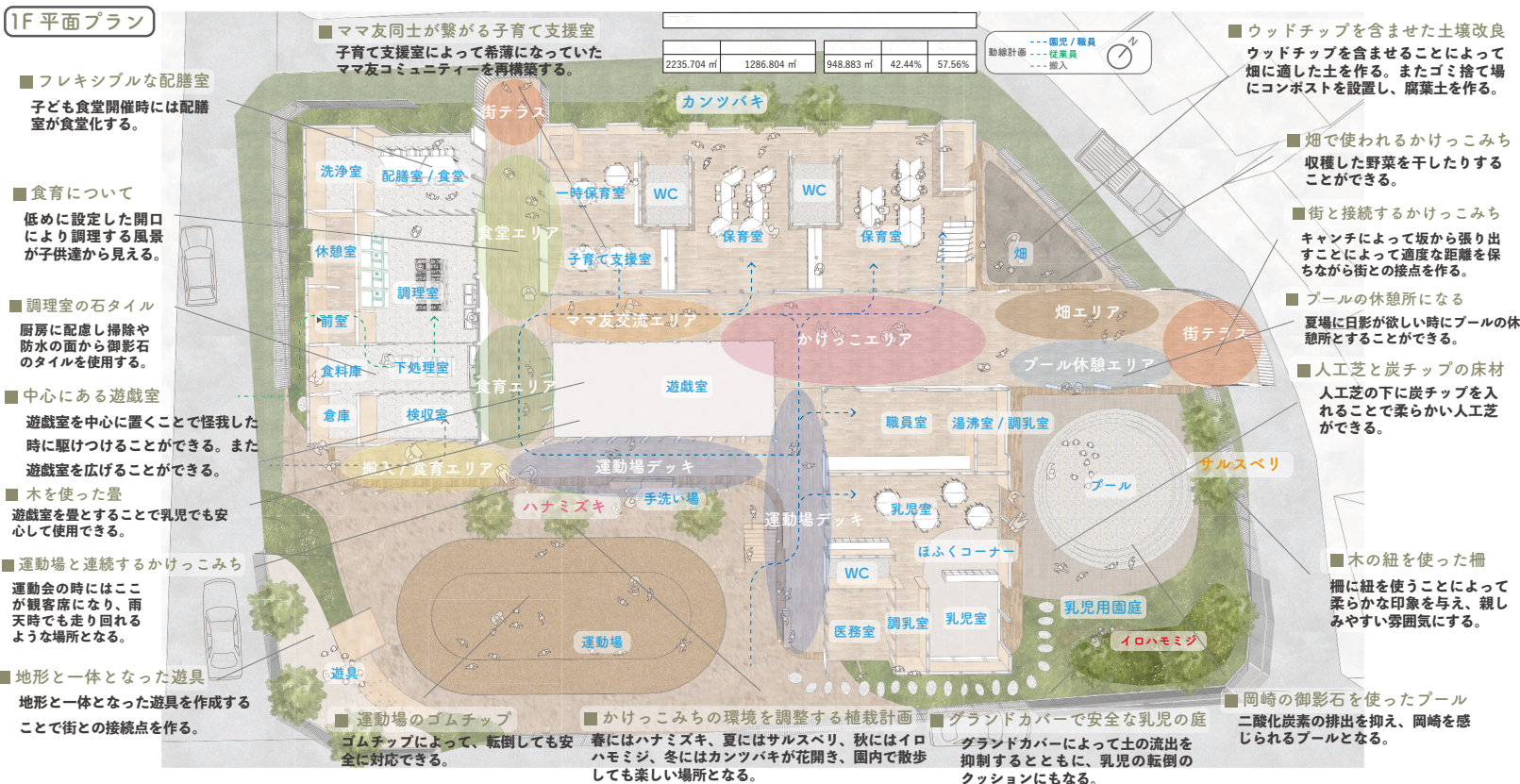
トラス構造

壁式構造

3. 安全性の確保と街との接続を実現する かけっこみち

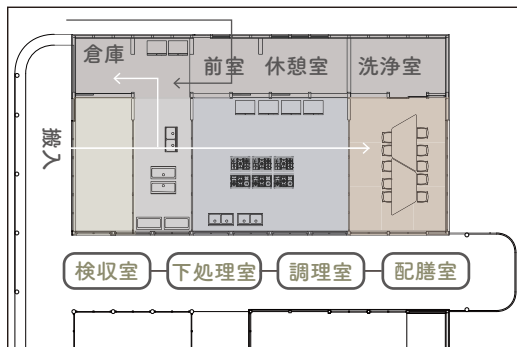
素材にふれる、街にふれる、岡崎にふれる

1F 平面プラン



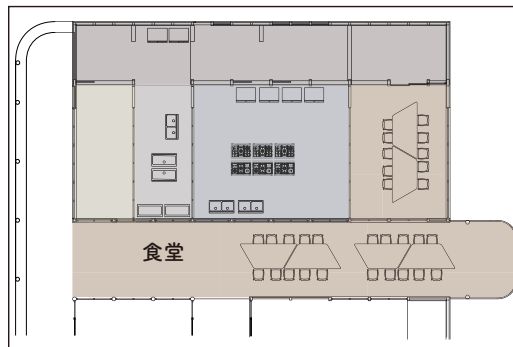
3. 素材にふれる、街にふれる、岡崎にふれる 安全性の確保と街との接続を実現する かけっこみち

スムーズな調理動線



検収室、下処理室、調理室、配膳室と順番にゾーニングすることでスムーズに調理を行うことができる。

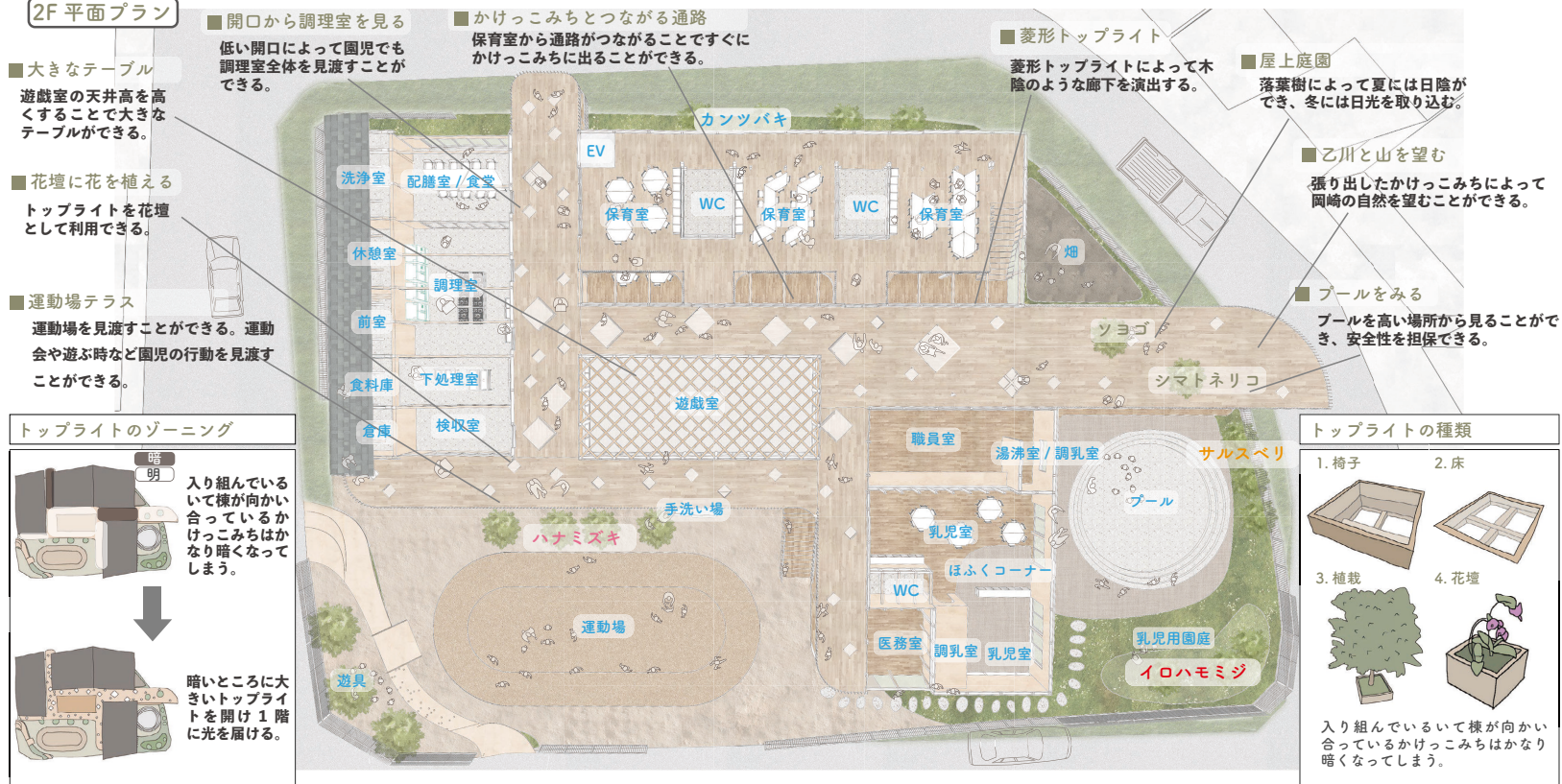
子ども食堂開催時の平面計画



配膳室は子ども食堂時に食堂として使われる。またかけっこみちと繋がることで延長することもできる。

3. 素材にふれる、街にふれる、岡崎にふれる 安全性の確保と街との接続を実現する かけっこみち

2F 平面プラン



6. かけっこみちの建築的意義 3棟の環境を整える断面計画

